体が内のヒトシジミに飼し感受性40かおよび感染予防）

色のカゴを用いて、セカガケゴを北陸地方などにおいて寒冷期に繁殖できるかどうかを検討するため、時期の違いにより飼育を行った。その結果、3週間後に最も高い22%の感性を示した3週目の認められたが、飼育実験の結果、セカガケゴモは日本に定着し、さらに全土に広がる可能性があることを示唆した。